

第8回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール

結果報告

受賞作品一覧と講評



主催 座間市教育委員会、座間市立図書館
後援 としょかん情報発信局、座間図書館ボランティア友の会、公益財団法人図書館振興財団
協力 国立研究開発法人 科学技術振興機構 サイエンスウィンドウ

第8回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品一覧

市長賞・図書館長賞

小学校中学年の部



「愛の音色スズムシ むらさききぶも
せんじ中も聞いた いやしの音」

田口 あい
座間市立相模野小学校3年

小学生高学年の部

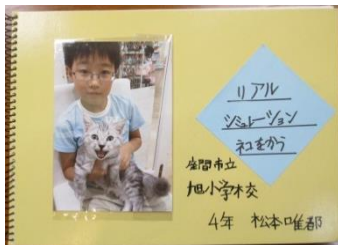


「月の魅力 神秘・魔力」

田口 夏帆
座間市立相模野小学校5年

教育長賞・図書館長賞

小学校中学年の部



「リアルシミュレーション ネコをかう」

松本 唯都
座間市立旭小学校4年

図書館長賞

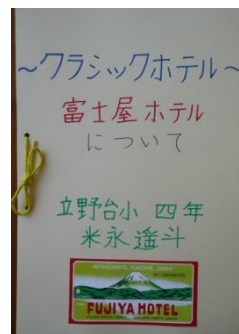
小学生低学年の部



「ねこのしっぽとひげのひみつ」

佐藤 陽菜太
座間市立立野台小学校2年

小学生中学年の部



「〜クラシックホテル〜
富士屋ホテルについて」

米永 遥斗
座間市立立野台小学校4年

小学生高学年の部



「身近なペットボトル水
~知っていますか?~」

藤本 紗衣 藤本 優有
座間市立立野台小学校5年 3年

子どもと大人の部



「なつのふしぎ6 子どもの疑問に
ついて、本気で調べてみたら…」

矢田 凜太郎 矢田 千恵
緑ヶ丘保育園年長 母

優秀賞

小学生低学年の部

「クワガタをじょうずにそだてよう」



太田 迅
座間市立相武台東小学校2年

小学生中学年の部

「人間や動物の目」



西谷 ころろ
座間市立相武台東小学校3年

小学生中学年の部

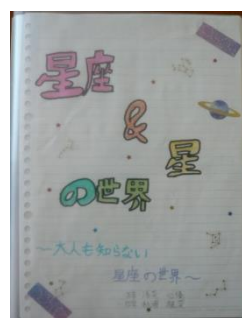
「ぜつめつした動物はいるの？」



末安 美結
座間市立立野台小学校3年

小学生高学年の部

「星座&星の世界
～大人も知らない星座の世界～」



浅菜 心優 杉浦 楓菜
座間市立栗原小学校5年 4年

大人の部

「小池白髪弁財天社
～歴史と支える人々～」



中川 眞幸 中島 正子
五十嵐 正夫 山本 愛子
座間市立東地区文化センターあすなる大学

大人の部

「小田急線 座間から厚木間の
路線はなぜ弓なりになったか？」



齋藤 東三
座間市立東地区文化センターあすなる大学

優良賞

小学生低学年の部

「カブトムシ」



赤木 智紀
座間市立東原小学校2年

小学生低学年の部

「ほうせきにはどんなものがあるの？」



谷口 絢菜
座間市立中原小学校1年

小学生中学年の部



「犬と人間の体のちがい
～犬と人の体のちがいおしえます～」

齋藤 帆花
座間市立相武台東小学校4年

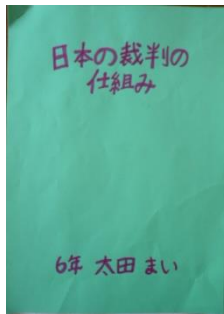
小学生中学年の部



「自転車の世界」

齋藤 潤
座間市立東原小学校4年

小学生高学年の部



「日本の裁判の仕組み」

太田 まい
座間市立相武台東小学校6年

小学生高学年の部



「食物アレルギーって何？」

伊藤 結
座間市立東原小学校5年

大人の部

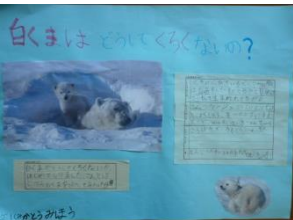


「「チョッピリ先生」 座間市内で、地域(社会)に
貢献している“ちょっぴり 凄い高齢者”」

鈴木 英夫 水谷 淳三
座間市立東地区文化センターあすなる大学

佳作

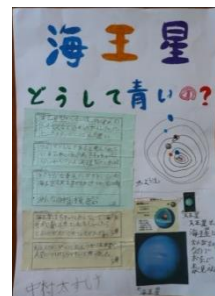
小学生低学年の部



「白くまはどうしてくろくないの？」

加藤 美宝
座間市立旭小学校2年

小学生低学年の部



「海王星 どうして青いの？」

中村 太亮
座間市立入谷小学校2年

小学生低学年の部



「きたアメリカのクワガタムシ」

里見 海漣
座間市立入谷小学校2年

小学生中学年の部



「天気のはみつ」

八重嶽 ほのか
座間市立中原小学校4年

小学生中学年の部



「ハリネズミについて」

古賀 美優
座間市東原小学校3年

小学生中学年の部



「ペンギンのふしぎ」

丹羽 歩美
座間市立相武台東小学校4年

小学生高学年の部



「キノコのひみつ」

小野 菜々子
座間市立立野台小学校5年

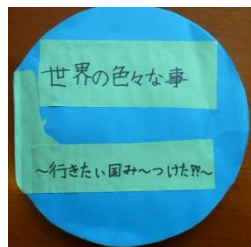
小学生高学年の部



「おいしい抹茶のひみつ」

森重 ひかり
座間市立座間小学校6年

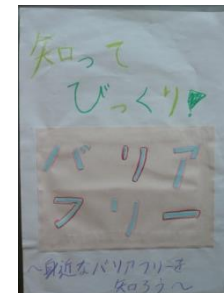
小学校高学年の部



「世界の色々な事
～行きたい国み～つけた!!～」

日比野 心寧
座間市立相武台東小学校5年

中学生の部



「知ってびっくり! バリアフリー
～身近なバリアフリーを知ろう～」

楠 和奏
座間市立座間中学校2年

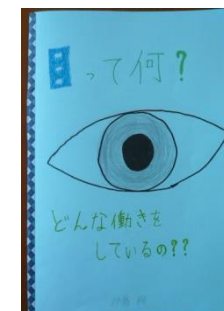
中学生の部



「世界陸上と共に走る
アップ編・本番編」

松本 拓夢
座間市立東中学校1年

中学生の部



「目って何?
どんな働きをしているの??」

伊藤 絢
座間市立南中学校1年

大人の部



「高座海軍工廠・台湾亭等 歴史遺産に
歴史がいっぱい埋まった! 座間 東原地区の不思議」

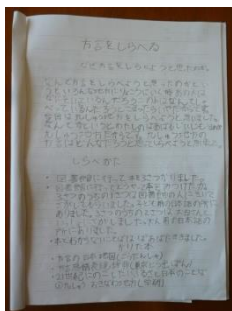
大田原 好男
座間市立東地区文化センターあすなる大学

努力賞

小学生中学年の部

「九しゅうの方言」

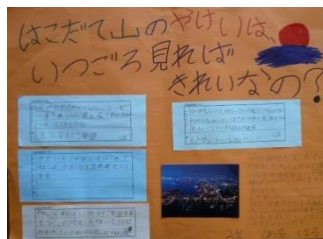
久保田 圭琳
座間市立中原小学校3年



小学生中学年の部

「はこだて山のやけいは、
いつごろ見ればきれいなの？」

桑名 暖
座間市立入谷小学校3年



小学生高学年の部

「犬の特ちょうとひみつ」

吉川 美桜
座間市立相武台東小学校5年



小学生高学年の部

「マンガテクニック」

(グループ:スカイ・ブルー)
吉野 瑞希 小野 菜々子
座間市立立野台小学校5年 5年



大人の部

「座架依橋と渡しの重要性
日蓮上人も相模川を渡った？」

鈴木 喜一郎
座間市立東地区文化センターあすなる大学



大人の部

「愛されている郷土そば(田舎そば)を覗く
-Part1 北海道・東北・北陸(長野県含む)編」

佐久間 十四光
座間市立東地区文化センターあすなる大学



大人の部

「富山
富山のキホン 位置関係 富山ってどんなトコ？」

依田 節子
座間市立東地区文化センターあすなる大学



第8回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール応募作品

▲小学生低学年の部

(敬称略)

番号	タイトル	名前	所属	賞
13	ねこのしっぽとひげのひみつ	佐藤 陽菜太	座間市立立野台小学校 2年	図書館長賞
22	クワガタをじょうずにそだてよう	太田 迅	座間市立相武台東小学校 2年	優秀賞
4	カブトムシ	赤木 智紀	座間市立東原小学校 2年	優良賞
6	ほうせきにはどんなものがあるの？	谷口 絢菜	座間市立中原小学校 1年	優良賞
20	白くまはどうしてくろくないの？	加藤 美宝	座間市立旭小学校 2年	佳作
24	海王星 どうして青いの？	中村 太亮	座間市立入谷小学校 2年	佳作
27	きたアメリカのクワガタムシ	里見 海漣	座間市立入谷小学校 2年	佳作

▲小学生中学年の部

番号	タイトル	名前	所属	賞
37	愛の音色スズムシ むらさきしき ぶもせんじ中も聞いた いやしの音	田口 あい	座間市立相模野小学校 3年	市長賞・ 図書館長賞
10	リアルシミュレーション ネコをかう	松本 唯都	座間市立旭小学校 4年	教育長賞・ 図書館長賞
25	～クラシックホテル～ 富士屋ホ テルについて	米永 遥斗	座間市立立野台小学校 4年	図書館長賞
3	人間や動物の目	西谷 こころ	座間市立相武台東小学校 3年	優秀賞
15	ぜつめつした動物はいるの？	末安 美結	座間市立立野台小学校 3年	優秀賞
1	犬と人間の体のちがい ～犬と人 の体のちがいおしえます～	齋藤 帆花	座間市立相武台東小学校 4年	優良賞
5	自転車の世界	齋藤 潤	座間市立東原小学校 4年	優良賞
8	天気のみみつ	八重嶽 ほのか	座間市立中原小学校 4年	佳作
12	ハリネズミについて	古賀 美優	座間市立東原小学校 3年	佳作
17	ペンギンのふしぎ	丹羽 歩美	座間市立相武台東小学校 4年	佳作
7	九しゅうの方言	久保田 圭琳	座間市立中原小学校 3年	努力賞
16	はこだて山のやけいは、いつごろ見れ ばきれいな？	桑名 暖	座間市立入谷小学校 3年	努力賞

▲小学生高学年の部

番号	タイトル	名前	所属	賞
38	月の魅力 神秘・魔力	田口 夏帆	座間市立相模野小学校 5年	市長賞・ 図書館長賞
40	身近なペットボトル水 ～知っ ていますか？～	藤本 紗衣 藤本 優有	座間市立立野台小学校 5年 座間市立立野台小学校 3年	図書館長賞
2	星座&星の世界 ～大人も知ら ない星座の世界～	浅菜 心優 杉浦 楓菜	座間市立栗原小学校 5年 座間市立栗原小学校 4年	優秀賞
23	日本の裁判の仕組み	太田 まい	座間市立相武台東小学校 6年	優良賞

26	食物アレルギーって何？	伊藤 結	座間市立東原小学校 5年	優良賞
14	キノコのひみつ	小野 菜々子	座間市立立野台小学校 5年	佳作
21	おいしい抹茶のひみつ	森重 ひかり	座間市立座間小学校 6年	佳作
34	世界の色々な事 ～行きたい国み～つけた!!～	日比野 心寧	座間市立相武台東小学校 5年	佳作
19	犬の特ちょうとひみつ	吉川 美桜	座間市立相武台東小学校 5年	努力賞
35	マンガテクニック	グループ:スカイ・ブルー 吉野 瑞希 小野 菜々子	座間市立立野台小学校 5年生 座間市立立野台小学校 5年生	努力賞

▲中学生の部

番号	タイトル	名前	所属	賞
9	知ってびっくり！ バリアフリー～身近なバリアフリーを知ろう～	楠 和奏	座間市立座間中学校 2年	佳作
11	世界陸上と共に走る アップ編・本番編	松本 拓夢	座間市立東中学校 1年	佳作
36	目って何？ どんな働きをしているの??	伊藤 絢	座間市立南中学校 1年	佳作

▲子どもと大人の部

番号	タイトル	名前	所属	賞
18	なつのふしぎ6 子どもの疑問について、本気で調べてみたら…	矢田 凜太郎 矢田 千恵	緑ヶ丘保育園年長 母	図書館長賞

▲大人の部

番号	タイトル	名前	備考	賞
29	小池白髪弁財天社 ～歴史と支える人々～	中川 眞幸 中島 正子 五十嵐 正夫 山本 愛子	座間市東地区文化センターあすなろ大学	優秀賞
30	小田急線 座間から厚木間の路線はなぜ弓なりになったか？	齋藤 東三	座間市東地区文化センターあすなろ大学	優秀賞
33	「チョッピリ先生」 座間市内で、地域(社会)に貢献している“ちょっぴり 凄い高齢者”	鈴木 英夫 水谷 淳三	座間市東地区文化センターあすなろ大学	優良賞
31	高座海軍工廠・台湾亭等 歴史遺産に 歴史がいっぱい埋まっていた！座間 東原地区の不思議	大田原 好男	座間市東地区文化センターあすなろ大学	佳作
28	座架依橋と渡しの重要性 日蓮上人も相模川を渡った？	鈴木 喜一郎	座間市東地区文化センターあすなろ大学	努力賞
32	愛されている郷土そば(田舎そば)を覗くーPart1 北海道・東北・北陸(長野県含む)編	佐久間 十四光	座間市東地区文化センターあすなろ大学	努力賞
39	富山 富山のキホン 位置関係 富山ってどんなトコ？	依田 節子	座間市東地区文化センターあすなろ大学	努力賞

■第8回コンクール応募状況（応募総数40点）

▲小学生の部 29点

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	応募点数
計	1	6	6	6	8	2	29
	低学年の部		中学年の部		高学年の部		

▲中学生の部 3点

学年	1年	2年	3年	応募点数
計	2	1	0	3

▲高校生の部 0点

学年	1年	2年	3年	応募点数
計	0	0	0	0

▲子どもと大人の部 1点

学校	保育園	小学校	中学校、高校	応募点数
計	1	0	0	1

▲大人の部 7点

所属	応募点数
座間市東地区文化センター高齢者学級あすなろ大学	7
応募総数 計	40

■賞の種類と本数（審査結果）

部門		市長賞	教育長賞	図書館長賞	優秀賞	優良賞	佳作	努力賞	計
小学生の部	低学年			1	1	2	3		7
	中学年	1	1	3	2	2	3	2	14
	高学年	1		2	1	2	3	2	11
中学生の部							3		3
高校生の部									0
子どもと大人の部				1					1
大人の部					2	1	1	3	7
入賞の合計		2	1	7	6	7	13	7	43
全国コンクール審査へ推薦		2							2

第8回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール講評

【はじめに】

座間市の、「図書館を使った調べる学習コンクール」(全国コンクール)の地域コンクールも8回目を迎えました。このコンクールは、身近な疑問や不思議に思うこと、興味があること、あるいは必要に迫られて調べなければならないことなどを、公共図書館や学校図書館で調べた上で、現地調査や聞き取りや実験などのフィールドワークでさらに調査し、その結果何がわかったのか、どのような発見があったのかについてまとめて作品にするものです。応募作品の一つ一つに、その人だけのストーリーが生まれ、感動やわくわく感が共有されます。

今回の応募作品は40点と、昨年と同じ応募数でした。子どもから大人まで幅広い層の応募をいただきましたが、今年度も様々な働きかけにもかかわらず、私どもの力不足から、高校生の応募や学級単位での応募など裾野を広げる取り組みが十分できませんでした。今後の大きな課題です。

ただ、座間市立南中学校と連携して、「南中ポップコンクール2017」を初めて開催できたのは、調べる学習につながる試みと考えます。これは、南中学校の授業でおすすめ本のポップを制作したもののの中から、当館の「本はいいなあ」の編集委員が優秀ポップを選び、優秀作品11点について本とともに紹介し、それ以外のポップも一覧で紹介するというものです。本というものを介して中学生と会話しているような気分になるポップを見ていると、さらに一歩進めて調べる学習に繋げてほしいと思いました。

「第8回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール」の最終審査会を11月1日に開催し、各賞を決定しました。どんな着眼点を持ち、どのように資料を活用しているのか、受けた感動を読み手にどのように分かりやすく表現しているのかが審査のポイントです。

審査結果は全40作品のうち、市長賞・図書館長賞2点、教育長賞・図書館長賞1点、図書館長賞4点、優秀賞6点、優良賞7点、佳作13点、努力賞7点でした。このうち市長賞・図書館長賞2点が全国コンクールの三次予備審査に推薦されます。

本コンクールは、さまざまな情報から自らが必要とする情報の集め方、取捨選択の仕方を学び、調べていく過程も含め深く考え、言葉を選び自分の考えをまとめ伝えていくことにその意義があります。言い換えれば、「調べる学習」は、調べている自分を観察し、資料を使いながら自分の考えや、体験を自分の言葉で表現することです。

自分の興味や疑問と出会いテーマを決めて、たくさんの資料を探し、フィールドワークをし、そこから得られたものを要約したりつなぎ合わせて写したりしていく作業は、「調べる学習」の基礎となるもので、「調べる学習」そのものではありません。作品から作者が浮かび上がるように自分を表現してこそ「調べる学習」の完成になると思います。

そして、「図書館を使う」ことが、私たちが生き生きと学び豊かな人生を送るうえでいかに大切かを伝える運動でもあります。「調べる学習」は、人が、生涯を通じて学ぶための大きな力になります。これからも、より多くの方々が、興味や関心を持って図書館や学校図書館を活用し、調べる学習コンクールに参加してくださることを心から願っております。

【小学生低学年の部】

小学生低学年の部の応募は7点で、1年生が1人、2年生が6人でした。

低学年の児童はまだ基本的な調べ学習の体験が少ないため、どう調べたらよいか、どこに焦点を絞り、どう発展させたらよいか、そしてその過程で図書館をどう使ったらよいかなどについて、周囲から適切なアドバイスをすることが必要です。一方、わくわくした思いや、調べる楽しさ、

ユニークな疑問や発想なども大切にしたい点です。

図書館長賞を受賞された佐藤陽菜太さんの『ねこのしっぽとひげのひみつ』は、ねこのしっぽとひげに的を絞って調べている点がまず評価できます。調べていくうちに、ねこのしっぽにほねがあることや、ひげの数が決まっていることがわかりました。低学年らしいかわいいねこの絵や、図など分かりやすく見せるための工夫もされています。

- 作品の講評
- ・テーマを選んだきっかけ（動機）が書かれている。
 - ・目次、調べてわかったこと、感想がしっかり書かれている。
 - ・しっぽやひげの形などでどう違うかが、絵を使って解説されている。
 - ・丁寧にわかりやすくまとめられている。
 - ・参考資料や使った図書館が書いてある。

字や自分で書いたイラストも上手で、審査委員からは「構成がしっかりしている」「絵も文も自分の力で仕上げている」などの感想がでていました。本文中に出典が書かれているとさらに見やすかったです。次はねこの肉球を調べたい、ということで次の作品を楽しみにしています。

優秀賞を受賞したのは『クワガタをじょうずにそだてよう』です。

- 作品の講評
- ・自分で捕まえたクワガタを育てようと、図書館を使って調べている。
 - ・絵や、まとめた文が良くできている。
 - ・丁寧に調べている。
 - ・調べた通りにやったら育てていく自信がついた、という感想が低学年らしい。

「ぼくがじっせんしたこと」について、本文でもう少し触れているともっと良くなったでしょう。また、目次がついているともっと見やすくなったと思います。

優良賞を受賞したのは『カブトムシ』です。よく観察して細かいところまでカブトムシの絵が描かれています。絵も文も自分で書いてあり、自分なりに一生懸命調べている様子が読み取れる作品です。調べたい理由や、何を使って調べたかななどが書かれていると一層良くなったでしょう。

同じく優良賞を受賞したのは『ほうせきにはどんなものがあるの？』です。宝石の絵がサインペンを使って丁寧に書かれていて、特徴もよくとらえられています。1年生らしい可愛らしさのある作品となっています。調べたい理由が書かれていると、もっと良かったと思います。

佳作は『白くまはどうしてくろくないの？』です。作品の真ん中に可愛い白くまの写真が貼られていて目を惹きます。また「なぜ？」がわかって笑顔になる様子が、作品からうかがえます。一方でコピーが中心となってしまい、調べてわかったことや考えたことが自分の言葉でもう少し書かれているともっと良かったでしょう。また、1冊の本だけでなく複数の本から調べると良かったでしょう。

もうひとつの佳作は『海王星 どうして青いの？』です。難しいテーマをよく調べ、答えまでたどり着いている点が評価できます。また、一目でわかるような構成となっています。なぜ関心を持ったのかという動機や、どのような資料に出ていたのか（出典）が書かれていると良かったと思います。

もうひとつの佳作は『きたアメリカのクワガタムシ』です。身近にいる日本のクワガタムシを見てアメリカにはどんなクワガタムシがいるのだろう、と視野を広げ疑問の出発点としている点や、一目でアメリカのクワガタムシの種類がわかるような構成は良かったと思います。ただ、自分の思ったことが、感想やまとめという形で入っていると良かったでしょう。

[小学生中学年の部]

小学生中学年の部の応募は12点で、3年生が6人、4年生が6人でした。審査結果は、市長

賞・図書館長賞 1 点、教育長賞・図書館長賞 1 点、図書館長賞 1 点、優秀賞 2 点、優良賞 2 点、佳作 3 点、努力賞 2 点となりました。

市長賞・図書館長賞を受賞したのは、田口あいさんの『愛の音色スズムシ むらさきしきぶもせんじ中も聞いた いやしの音』です。スズムシが何のために鳴くのか体のどこで鳴くのかなどに興味を持ち発音機を作ったり、スズムシの生活を観察するために飼育や実験もしたりしています。

- 作品の講評
- ・なぜ調べたかったのかという動機が書かれている。
 - ・スズムシを飼育・観察し、実験も行っている。
 - ・昆虫館に行ったり、鳴く虫を楽しむ会に参加したりとフィールドワークも行っている。
 - ・調べたことを実際にやってみたり、とことん調べたりする姿勢がよい。
 - ・専門家に意見を聞くなど、幅広い視点で書かれている。
 - ・自分の言葉で思ったことが書かれている。
 - ・読んでいて楽しく手作り感がありながら、高いレベルの作品となっている。
 - ・絵と写真が豊富で、コピーや絵を効果的に使いわかりやすくまとめている。
 - ・冊子のかたちにして、目次をつけ、順序よくまとめてありわかりやすい。

審査員の感想に「まとめ方が上手で引き込まれる」「大好きなスズムシについての調べが、ここまでできるんだ、と大人も驚かされた」「とにかく圧巻、びっくりした」などと書かれているように、3 年生の作品とは思えないほど内容が高度であり、完成度の高い作品となっています。このような自由な視点と、調べることに興味を持って積極的に姿勢を、今後も続けて欲しいと思います。

教育長賞・図書館長賞を受賞したのは松本唯都さんの、『リアルシミュレーション ネコをかう』です。ネコを飼いたいけれど家族は反対で、実際に飼えるかどうかをお母さんと一緒に調べながらシミュレーションしていく様子が楽しくまとめられています。生き物を飼うことは簡単ではないことを、自分で体験して理解できたことはすばらしいです。

- 作品の講評
- ・調べる動機、「ネコが飼いたい」という気持ちがよく伝わってくる。
 - ・読んでいて楽しさが伝わってくる。
 - ・見やすく、表現方法も工夫されている。
 - ・まとめがきれいに、分かりやすく書かれている。

また、添えられたお母さんの手紙が、作品を一層豊かにしています。手紙には、ネコがあまり好きでなかったお母さんが、一緒にネコカフェに行ったりしているうちに、次第にネコに対する気持ちに変化してきた様子などが書かれており、家族の暖かさが伝わってきます。本文中に出典があればさらに良かったと思います。

図書館長賞を受賞したのは米永遥斗さんの『～クラシックホテル～ 富士屋ホテルについて』でした。

- 作品の講評
- ・実際にホテルを見学し、コンシェルジュの方にインタビューしている。
 - ・図や写真の使い方が上手である。
 - ・調べる動機から、調べて分かったことが明記されていること。
 - ・テーマを絞り、実際に体験しながら歴史まで含め丁寧にまとめられている。
 - ・発表資料の作り方で文章中に赤字を使うなどの工夫がある。

「読んでみると、まるでホテルにいるような気持ちになった」「チャレンジ精神や博物学的視点は非常に良い」といった審査委員の言葉にあるように、熱意と行動力に裏付けされた雰囲気のある良い作品になっています。調べたことについて出典が書いてあると一層良くなったでしょう。

優秀賞は『人間や動物の目』でした。自分の目が弱いことをきっかけに目のことを調べ始めたこと、人間だけでなく他の動物の目との比較がされていること、実体験を踏まえ、わかったことや考えたことが自分の言葉で書かれていること、索引までつけられていること、作品に発展性がみられることなどが高く評価されました。フィールドワークなどが組み合わせられると、一層良い作品となったでしょう。

もうひとつの優秀賞は『ぜつめつした動物はいるの?』でした。調べる動機や、感想、予想、調べ方、出典などがきちんと書かれていること、実際に博物館に行っていること、丁寧にまとめられている点などが高く評価されました。多くの動物が絶滅していて、ほとんどが人間の仕業だという事を知ることができたことは、収穫だったと思います。カラー写真をもう少し使ったり、本文中に調べていく過程が書かれたりしているともっと良かったでしょう。

優良賞の『犬と人間の体のちがい～犬と人の体のちがいおしえます～』は、実際に犬と生活を共にし、動物の気持ちがよく分かっている印象があります。調べる動機やあとがきもあり、犬の仕事についてもよく調べられています。また、調べたことを左に書き、その実験を右に書くという、見やすくなるような工夫がされています。ただ、調べた結果だけを書くのではなく、調べる過程や、自分の考えが入っているともっと良かったでしょう。

もうひとつの優良賞は『自転車の世界』です。お父さんが大好きな自転車について調べたい、と動機がはっきりしている点がまず評価できます。お父さんにインタビューしながら丁寧にまとめられており、それが自分の言葉で表現できている点も良かったと思います。本文中の「調べてわかったこと」に出典が書いてあると、一層良い作品になったと思います。

佳作の『天気のみみつ』は、天気をいろいろな角度から調べまとめた作品です。雲と雪とは写真も付けられており、また字も大きく見やすい作品となっています。ただ、なぜこのテーマを選んだのか、調べて何がわかったのか、どんな感想を持ったのかなどが書かれていると良かったでしょう。なお、応募作品の表紙と中の文章が逆さに製本されていたり、クイズ形式の部分が少し分かりにくかったりするので、丁寧な作りを心掛けてほしいと思います。

佳作の『ハリネズミについて』は、ハリネズミを飼いたいという動機から始まり、いろいろ調べ、その結果で飼育しようとした点に特長があります。挿絵、写真などを取り入れ、上手に工夫しています。ハリネズミへの愛情を感じる作品です。コピーの出典が書かれて、まとめにもう少し工夫があるとなお良かったでしょう。

もうひとつの佳作は『ペンギンのふしぎ』です。本の形にし、「目次」「はじめに」「おわりに」「参考資料」と整理されており、見やすい作品となっています。また、調べたことに関してその都度自分の感想が書かれている点も評価できます。図や写真、イラストなどが入るともっと良い作品になったでしょう。

努力賞の『丸しゅうの方言』は、調べ始めた動機、調べ方、調べていく過程が書かれているうえ、インタビューなどもされていて好感が持てます。「読んでいて面白かった」「今回の学習を十分理解している」という審査委員の感想もありました。応募作品は表紙が無かったので題名を書いた表紙をつけるとよいです。また、本文に出典を入れたり、もう少し情報を集めたり、掘り下げた内容になっていると良かったと思います。

努力賞の『はこだて山のやけいは、いつごろ見ればきれいなの?』は、資料をいろいろ調べたり、実際に行ったりしているところは、評価できる点です。また、自然の美しさに感動したことが、読む側に伝わるような表現になっていることも良かったと思います。調べる動機や、夜景がきれいに見える条件などが書かれていると、一層良い作品になったでしょう。

[小学生高学年の部]

小学生高学年の部の応募は10点で、5年生が8点、6年生が2点でした。審査結果は、市長賞・図書館長賞が1点、図書館長賞が1点、優秀賞1点、優良賞2点、佳作3点、努力賞2点でした。

市長賞・図書館長賞は田口夏帆さんの、『月の魅力 神秘・魔力』が受賞しました。家族旅行の際にウミガメが満月に産卵することを知り、月と潮の満ち引きと生命との関係に興味を持ち月をテーマに調べた作品です。また、月の魔力と事件や事故の関係にも疑問を持ち調べています。

- 作品の講評
- ・資料だけでなく、実験や研究者に意見を求めるなど、主体的に学んでいる。
 - ・出産と満月との関係を調査しグラフにまとめ、自分なりの結論を出している。
 - ・月と狂気の関係についても自分で仮説を立て、実際に警察に行きデータを手入れし、グラフ化するなど、フィールドワークもされている。
 - ・不明な点を専門家に聞くときの質問が的確である。
 - ・調べた上で、現地で調査し、実験も行うなど、疑問を徹底的に追いかけている。
 - ・文献リストが充実している。
 - ・自分の意見がしっかり書かれ、調べていく流れが読みとれる。

内容的には「コメントに困るほどの力作です」「素晴らしい！将来は研究者ですね！」といった感想が審査委員全員から出るほどの的確で、高度で、読んでいて惹きこまれるものでした。それだけでなく、上手くいたり、がっかりしたり、協力してくれた人とのやりとりに嬉しく思ったりといった調べの課程や、感情の変化が書かれている点も高く評価できます。本文にどの資料からそのことがわかったか、資料名や出典をいれたり、コピーに出典が書かれていたりしているとより完成度が上がったと思います。これからも、様々なことに疑問を持って調べることを続けてほしいと思います。

図書館長賞は藤本紗衣さんと優有さん姉妹の、『身近なペットボトル水 ～知っていますか？～』です。座間の水もおいしいけれど家ではよくペットボトル水を買って使っています。なぜペットボトル水を買う人が多くなっているのか等の疑問を、姉妹で調べて作品にまとめています。

- 作品の講評
- ・お店に買いに行ったり、資料で調べたりと情報収集を積極的に行っている。
 - ・疑問を調べ、知らなかったことが分かってく様子が見える。
 - ・自分で書いたイラストや図、表にも出典が明記されている。
 - ・水の大切さを発見し実感していることが伝わってくる。

まず着眼点がおもしろく、さらに姉妹で協力し、上手に分担しながら丁寧に仕上げられています。表紙の写真も好感が持てるものです。読み手を意識して見てもらおうという工夫が随所に見られ、挿絵などもバランス良く配置されています。水は日本と世界各地でいろいろな違いがあり、また歴史などにも大きな影響を与えています。奥深い「水」について調べることを続けて欲しいと思います。

優秀賞の『星座&星の世界 ～大人も知らない星座の世界～』は、項目ごとに予想、調べたこと、分かったこと、参考資料が書かれており、また実際に博物館などを見学するなど、多方面からアプローチしている点など高く評価できます。また、丁寧に調べられていて、JAXAの見学記も良くまとめられています。この作品は二人での調べ学習ですが、二人でどのように調べを進めどのように分担して文章化したのかといった点をはっきりすると、一層良い作品になったと思います。

優良賞の『日本の裁判の仕組み』は、実際に最高裁判所を見学した体験が反映された作品です。字が上手で、調べたことを分かりやすく丁寧にまとめられています。難しい課題ですが今後の勉強に役立ちそうな内容となっています。ただ、表紙などを工夫し、調べて分かったことや自

分の意見が書かれていると、もっと良くなったと思います。

優良賞の『食物アレルギーって何?』は、「はじめに、予想、調べる、おわりに」という形にきれいにまとめられています。また、男の子と女の子のキャラクターを登場させ、それを使って作品を展開するなどユニークな作りとなっています。小学生にはやや難しいテーマですが、果敢に挑む姿勢は見習いたいと思います。ただ、キャラクターの表情が同じでせつかくの試みの効果が出ていないこと、また医師や栄養士に話を聞くなどのフィールドワークがあると一層良くなるでしょう。

佳作の『キノコのひみつ』は、キャラクターを使って進行しており、分かりやすくまとめられています。また、食用と毒キノコを写真で見比べていたり、カラーの台紙に調べたものを上手に配置されたりしていて、楽しく調べられた様子がうかがえます。身の回りのキノコを観察するとか、専門家の意見を聞くとかがあれば、一層良くなったでしょう。

佳作の『おいしい抹茶のひみつ』は、図や写真を使い、表紙も綺麗でとても上手にまとめられた作品です。台紙の抹茶色の紙を使い、たくさんの本から情報を集め、審査委員の目をひいた作品でした。実際に抹茶を使ってお茶をたてたり、お茶の飲み比べをしたりするなど体験が書かれていると、もっと良い作品になったでしょう。

佳作の『世界の色々な事 ～行きたい国み～つけた!!～』は、まず円形の地球を思わせる作りが目を引く作品です。内容的にも、調べた項目ごとにまとめられていて、楽しい作品となっています。また、動機もはっきりしており、その目的に沿って調べられています。ただ、たくさんの方の国の概要をまとめたため、まとまりに欠ける点が残念です。また、調べる過程や感想などもあると、もっと良いものになるでしょう。

努力賞の『犬の特ちょうとひみつ』は、調べたことにきちんと出典が書かれている点が良いかと思えます。ただ、どうして犬の特徴や秘密を調べようとしたのか、調べた結果どのような感想を持ったのか、自分と犬の関わりなどが入っていると、もっと良くなったでしょう。

努力賞の『マンガテクニック』は、二人で作った作品です。マンガの基本テクニックからストーリーの作り方まで、自らマンガを描きながら説明しています。とても楽しそうな雰囲気が伝わってくる作品です。ただ、調べ学習というよりマンガ創作ノートという感じなので、調べ学習とするには、テーマを絞り、考察や実験、フィールドワークなどを取り入れることが必要でしょう。

[中学生の部]

今年は中学生の部に3点の応募がありました。審査結果は佳作が3点でした。

佳作の『知ってびっくり! バリアフリー ～身近なバリアフリーを知ろう～』は、よく調べられており、また調べ学習の楽しさを実感している様子がうかがえる作品です。また、色画用紙を使い、カラフルにまとめられています。ただ、自分が体験したことや、バリアフリーを使っている人の意見や感想などが入ると、一層良かったと思います。

佳作の『世界陸上と共に走る アップ編・本番編』は、2分冊になったこの作品は、黒い台紙に新聞記事や写真が貼られたとても綺麗な仕上がりになっています。また、陸上に対する情熱も感じられる作品です。新聞記事を中心に、時間順に世界陸上短距離の様子をまとめており、臨場感や作者の緊張まで感じられます。ただ、自分に引き付けて考察したり、短距離の難しさや世界陸上の結果の分析など、もうひとつ工夫して欲しかったと思います。

佳作の『目って何? どんな働きをしているの??』は、目の仕組みや働きについて、よく調べており、またクイズなどもあって表現豊かな内容となっています。ただ、調べたことを順にまとめていった感が強く、動機から調べ、発見、感想といった調べ学習の重要な点が弱いことが

残念です。他の生きものと人間の目の比較などもあったほうが良かったのではないのでしょうか。

【高校生の部】

高校生の部は、今年も応募がありませんでした。図書館と市内の高校との日頃の交流が少ないことも一因だと感じています。交流を模索するとともに、コンクールのPRが充分でなかったこともありましたので、図書館としても一層の努力をしたいと思います。

【子どもと大人の部】

子どもと大人の部については、今年は1点の応募がありました。

図書館長賞を受賞したのは、矢田凜太朗さんと矢田千恵さん（母）親子の『なつのふしぎ6 子どもの疑問について、本気で調べてみたら…』でした。

- ・調べてわかったことの、子どものフォローとしてのお母さんのコメントが良い。
- ・子どもと親の連携が良い。
- ・親と子どもが共に育つという視点が良い。
- ・親子で調べる楽しさが伝わってくる。
- ・子どもらしい疑問に向き合うお母さんの姿勢が良い。
- ・まとめ方に工夫があり、見やすい作品となっている。

この部門では他部門と別に独自の審査基準として、「子どもの自主性がうかがえるか」「大人による導き・援助は適切か」という項目があり、子どもに対する大人の役割が大変重要な要素です。この作品は保育園児と母の作品であり、保育園児にはまだ調べ学習を体験するうえで疑問に対する子どもの感想が弱いと思われるほか、単発の疑問に単発の答えがあるという形であるため、全体としてみるとやや散漫な印象を受けますが、よく頑張りました。これからもご家族で、疑問に思ったことを楽しみながら調べ、体験し、作品としてまとめていただければと思います。

【大人の部】

大人の部は、座間市立東地区文化センターあすなろ大学からの応募が7点ありました。審査結果は優秀賞2点、優良賞1点、佳作1点、努力賞3点となりました。調べ学習は、わくわくするようなテーマや、大きく関心を惹かれるようなテーマに出会うと、大人も調べ学習の魅力に取りつかれます。座間市ではあすなろ大学のように、図書館を友に生涯学習を楽しむ方々が多くいます。どのような年代でも楽しめ役に立つのが調べ学習です。広く取り組まれるようになることを期待しています。

優秀賞を受賞したのは、『小池白髪弁財天社 ～歴史と支える人々～』です。4人グループによる作品で、座間に対する郷土愛が感じられる作品です。この作品は成人対象の調べ学習講座「大人のための楽しい図書館活用講座」で取り組んだテーマでその後も学習を進め、テーマをより広く、深く調べられている点は高く評価できます。また、「今後の課題」にも触れ、「おわりに」以降の文に4人の姿が見えるようで、次の作品につなげていただきたいと思います。

優秀賞の『小田急線 座間から厚木間の路線はなぜ弓なりになったか?』は、まずテーマ設定が非常にユニークで良い作品です。また、資料の調査、フィールドワークも積極的に行い、座間のあまり知られていない歴史がなぜ解きのように紹介されている点もとても良かったと思います。ただ、パワーポイントデータに簡単な解説を付けた発表用の原稿のようであり、言葉をもう少し加え、感想や調べていく過程などが書かれていると、一層良い作品になったと思います。

優良賞の『「チョッピー先生」 座間市内で、地域（社会）に貢献している“ちょっぴり 凄い高齢者”』は、座間で取り組まれている「ちょっぴり先生」について調べたもので、歴史から

これまでの活動、今後の事まで多くの資料を駆使しながらまとめたものです。まさに「ちょっぴり先生」の記録集とも言えるような作品です。ただ、調べ学習として見たとき、これを参考資料として、テーマに向き合い二人で調べる過程や、二人の感想などを中心としたものを本編とした方が良かったのではないかと感じます。

佳作の『高座海軍工廠・台湾亭等 歴史遺産に歴史がいっぱい埋まった！ 座間 東原地区の不思議』は、作者が郷土の歴史を調べていく過程の思いが良く伝わってくる作品になっています。また、資料に丁寧に当たり、よくまとめられています。ただ、目次にある章立てが本文に使われていないため読みづらくなってしまっています。また、資料の要約と自分の意見がはっきりしないため、整理してまとめられるともっと良くなると思います。

努力賞の『座架依橋と渡しの重要性 日蓮上人も相模川を渡った？』は、ユニークな視点で調べている点が評価できます。資料もよくまとめられています。内容が「渡し」と「日蓮上人」のふたつに別れてしまっているため、どちらかに絞った方が良かったでしょう。また、実際に見学に行くなどのフィールドワークを組み込むとか、疑問に思ったことを深く追求するという方向でまとめることも必要だと思います。

努力賞の『愛されている郷土そば（田舎そば）を覗く－Part 1 北海道・東北・北陸（長野県含む）編』は、各地の郷土そばについてまとめたもので、資料集のようなものになっています。調べ学習は、疑問（動機）が出発点で、それを解明するために資料を調べたり、フィールドワークを行ったりし、その過程や結果を記述するところに意義があります。「田舎そば」のどこに疑問を持ち、調べる過程でどのような感想があったのか、それらが書き込まれると、もっと良い作品になるでしょう。

努力賞の『富山 富山のキホン 位置関係 富山ってどんなトコ？』は、多くの資料を集め、短いコメントを付けるというスタイルで書かれています。盛りだくさんで、富山県百科のような作品となっています。富山への愛が感じられる作品です。ただ、情報量が多く、参考資料が大半を占めるため、作者が何を感じたか、どのような過程で調べ、何がわかり何がわからなかったのかなど作者の心の動きや体験が見えにくくなっています。感想やまとめが欲しい作品と言えるでしょう。

【おわりに】

「第8回 座間市 図書館を使った調べる学習コンクール」には、子どもから大人まで応募をいただき、たいへん素晴らしい作品が数多くありました。一方で、「ただ好き」だけではなく、どうして調べたいか、疑問の追究や考察をして欲しいという作品も多くありました。また、資料をたくさん収集し、その紹介が中心となるいわゆる「写し学習」も毎年散見されます。「写し学習」は調べる学習の前段としてはあってもいいのですが、調べる学習の肝は、自分を表現することです。資料や様々な情報を調べたり比較したりしてテーマを考察し、あるいは資料を確認するためのフィールドワークなどを背景に、調べる過程や感想、自分なりの発見や意見などを綴っていくのが調べる学習です。このコンクールは自分の考えをしっかりと持ち、表現できる人になる、それと同時に人の意見も尊重できる広い視野を持つ人になることを、目指しています。

小学校低学年や中学年では、特に調べる対象への愛情や感動、わくわく感なども重要なポイントです。好奇心が調べることの第一歩であるとともに、楽しいという体験が、続けるための原動力にもなるからです。

小学校高学年くらいになると、好奇心ももちろん大切ですが、自分の考えや調べる過程などが重要になってきます。具体的には次のような点に留意してまとめて欲しいと思います。

- ・何を調べたいのか（疑問に思ったのか）。

- ・何を使ってどのように調べたのか。
- ・調べた結果何がわかって、何がわからなかったのか。
- ・調べたことの感想や考察がある。

繰り返しになりますが、全ての部門を通して言えることは、「人の情報は大切にす(著作権)、自分の考えをしっかりと書く」というのを区別することです。本の情報をたくさん書きたいことはわかりますが、本に載っていることを「そのまま写して書く」のではなく、自分がどうしてその情報を使いたいのか、予想や検証の裏付けとして資料を使うこと、自分の考えも入れることを知って欲しいと思います。

調べる学習コンクールという視点から見ると、この調べ学習を通して、何を伝えたいのかという説得力が読者に伝わってくるような作品が望まれます。調べ学習は、単に図書館の資料を参考にして、調べたい内容を整理し考察するのではなく、図書館やさまざまなメディアからの情報収集、実地調査やフィールドワークなどを組み合わせて調べを続け、最終的にこのテーマを調べてどうだったのかという自分の考察や感想を、作品としてまとめていくのが理想です。

そういった審査基準の多くをクリアした作品と言えるのが、市長賞・図書館長賞に選ばれた田口さん姉妹の『月の魅力 神秘・魔力』と『愛の音色スズムシ ～むらさきしきぶもせんじ中も聞いた～』とです。構成が素晴らしいだけでなく、目の付け所やフィールドワークの幅広さ、まとめ方のレベルの高さなど完成度の非常に高い作品といえるでしょう。田口さん姉妹は、第6回のコンクールでも共同作品『世界をすくうカイコ』で市長賞・図書館長賞を受賞していて、「調べる学習」の継続による力の育成には確かなものがあることが分かります。

また教育長賞・図書館長賞を受賞した松本唯都さんの、『リアルシミュレーション ネコをかう』も同様に高いレベルの作品で、松本唯都さんは第6回、第7回、第8回と3回連続で上位入賞しています。

図書館を使った調べる学習により、情報リテラシーを始め知的好奇心、読解力、言語力、思考力が磨かれます。知的好奇心から深める学びは、貴重な成長の機会です。学校教育や生涯学習の場として図書館や学校図書館を活用することによって、生きる力を身につけ、来年も多くの皆さんが、図書館を使った楽しい調べる学習作品をたくさん応募してくださることを願っています。

■図書館を使った調べる学習コンクール審査基準（全国コンクール審査基準）

<小学生・中学生・高校生の部>

- ①学校図書館や公共図書館の資料・情報を活用した研究・調査であるか
- ②発達段階に応じたテーマであるか
- ③的確な資料・情報収集ができているか
- ④複数の資料・情報を活用しているか
- ⑤使用した資料・情報の出典が明示されているか
- ⑥調べる目的、方法、過程などをきちんと示しているか
- ⑦資料・情報をもとに、自分の考えをまとめているか
- ⑧調べる過程や作品に、主体的に学ぶ喜びが読みとれるか
- ⑨情報の整理や表現方法が工夫されているか

<子どもと大人の部>

- ①学校図書館や公共図書館の資料・情報を活用した研究・調査であるか
- ②発達段階に応じたテーマであるか
- ③的確な資料・情報収集ができているか
- ④複数の資料・情報を活用しているか
- ⑤使用した資料・情報の出典が明示されているか
- ⑥調べる目的、方法、過程などをきちんと示しているか
- ⑦資料・情報をもとに、自分の考えをまとめているか
- ⑧調べる過程や作品に、主体的に学ぶ喜びが読みとれるか
- ⑨情報の整理や表現方法が工夫されているか
- ⑩子どもの自主性がうかがえるか
- ⑪大人による導き・援助は適切か

<大人の部>

- ①学校図書館や公共図書館の資料・情報を活用した研究・調査であるか
- ②的確な資料・情報収集ができているか
- ③複数の資料・情報を活用しているか
- ④使用した資料・情報の出典が明示されているか
- ⑤調べる目的、方法、過程などをきちんと示しているか
- ⑥資料・情報をもとに、自分の考えをまとめているか
- ⑦調べる過程や作品に、主体的に学ぶ喜びが読みとれるか
- ⑧情報の整理や表現方法が工夫されているか

■審査委員一覧（敬称略）	審査委員長	升水由希（座間市立図書館図書館協議会会長）
	審査委員	浅野 寛（生涯学習課長）
		金井雄二（座間市立図書館館長）
		吉泉幸子（公民館運営審議委員）
		遠藤春海（座間図書館ボランティア友の会会長）
		佐藤えり子（としょかん情報発信局）
		としょかん情報発信局会員の皆様
		座間図書館ボランティア友の会会員の皆様
		葉山敦美（図書館事務局）
		篠田賢治（図書館事務局）
		櫻井 香（図書館事務局）

表彰状授与式の様子

(平成29年11月25日開催)

